

イノシシにご注意ください!

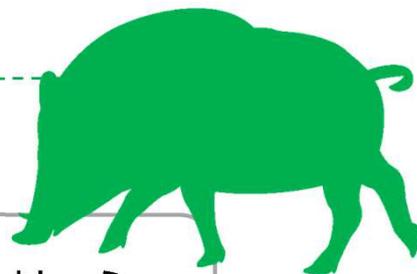
イノシシは警戒心が強い動物で、ふつうは人と出会ったときは、イノシシの方から先に逃げていきます。

しかし、突然出会った場合や何かから逃げようとパニックになっている場合は、攻撃してくることがあり、注意が必要です。

◆ イノシシに出会ったら

刺激しない

あわてず、さわがず、ゆっくり後ずさりしてその場を立ち去りましょう。
イノシシから身を守ることができる
安全な場所(建物、車、高い所)に避難しましょう。



【事故例】

令和3年に大阪府で男性が自転車走行中イノシシと接触し、攻撃され死亡。

近づかない

イノシシの子ども(うり坊)の近くには、必ず母親のイノシシがいて、子どもを守ろうとします。絶対に近づかず、その場からゆっくり離れましょう。

集落内でエサを食べさせない

集落内の生ごみ、野菜くず、廃果、ペットフードの放置等は、イノシシのエサとなり、**無意識な餌付け**につながります。
イノシシを集落に寄せ付けないため、イノシシのエサとなるものは適切に処理しましょう。

【事故例】

食べ物が入ったレジ袋を持って歩いていたところ、イノシシに攻撃され負傷。

◆ 万が一、イノシシがおそってきたら

キバ・かみ付きに注意

イノシシはキバを持っていて、キバをしゃくり上げて攻撃します。
また、かみ付かれると大けがにつながります。

太ももの前面を攻撃されると、大量出血につながり、命に関わる危険があります。カバンなどで身を守りましょう。

エサになりそうなものを持っている場合は、すぐに体から離してください。



集落周辺で目撃したら、市町村役場または
県地域振興局林務課にお知らせください

【イノシシはこんな動物】

イノシシは本来、警戒心が強く臆病な動物です。ふつうは人と出会ってもすぐにイノシシが先に逃げていきます。

しかし、人がエサを与えたり、集落内でエサが簡単に食べられると、餌付けの状態となり、イノシシの警戒心が低くなります。また、刺激や逃げ道をふさがれてパニックになった場合など、人を攻撃することがあります。

イノシシは、水田の耕作放棄地や集落内外のヤブに好んで生息しており、集落周辺でこうしたイノシシの生息適地が増加することが、集落へのイノシシの出没が増加する要因の1つとなっています。

👉 **イノシシの習性について、詳しくは「イノシシ対策の基礎知識」**

イノシシ Q & A

Q1. イノシシは犬を連れていっていると出会わない？

犬を連れていっているときは、イノシシは犬を敵と判断し、攻撃される可能性があります。犬の散歩中にイノシシと出会ったら、犬のリードを離し、イノシシから目を離さずに避難しましょう。

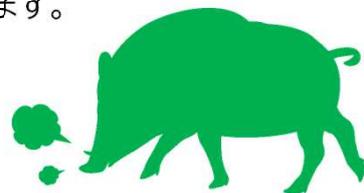
Q2. 山にエサがないから集落に出てくるの？

イノシシは、奥山よりも里に近い山際の草むらやヤブを好んで生息しています。また集落周辺にこのような場所があって「簡単に美味しい栄養満点の食べ物を得られる」とイノシシが学習すると、頻繁に集落に出没するようになります。

【集落内でイノシシのエサとなるもの】

生ごみ、野菜くず、廃果、収穫されない果樹、ペットフード等イノシシのエサとなるものの放置は、無意識な餌付けにつながります。イノシシのエサとなるものの管理を十分に行いましょう。

Q3. イノシシの猪突猛進って本当？



イノシシは真っ直ぐに突進するイメージがありますが、実際は急に曲がるのも得意です。猟師に追われ、必死に逃げる姿から、猪突猛進と言われるようになったとされています。

Q4. イノシシは夜に行動するの？昼に行動するの？

イノシシは、人の影響が強い地域では夜に活動しますが、人の影響が少ない地域では昼に活動するといった様に、人の影響によって柔軟に行動を変化させます。人に馴れて警戒心が低くなると、昼でも集落や住宅地に出没することがあります。